

## 知恵と技、飯山の郷土食

未来へつなごう ばあちゃんの味 かあちゃんの味

協力：飯山市「食の風土記」編集委員会

### 1～2月の食ごよみ

#### ●食の段取り

◇1月15日 道祖神（火祭り）

もの作り 米の粉の団子で野菜や米俵、繭などに形作ったものや小判をダンゴの木に飾りつけたものを茶の間に飾り、美しい彩りを楽しんだ。道祖神の夜、団子ともちを道祖神の火で焼いて食べると風邪をひかないと言われている。

◇2月15日 やしろうまの日

お釈迦様が病気で寝ているところに和尚が団子を持って来てくれた。これを食べたお釈迦様が「和尚、これはうまい」と言ったのがやしろうまになったと言われている。

### ●第6回● やしろうま



#### ■やしろうまの材料・作り方

材料：米粉1kg、砂糖100g、塩大さじ1（約15g）、熱湯800cc、青豆80g（かるく2にぎり）

作り方：①中に入れる青豆は2～3分茹で、ざるに上げておく②こね鉢の中に米粉、砂糖、塩を入れてよく混ぜておく③熱湯を入れながら手早くしめらす④よくしめせたら、5分間こねる。⑤こねた生地を大きくちぎり、①の青豆を入れ、さらにこねる⑥生地を6等分にし、1本づつさらにこねて形を整える⑦蒸し器に入れ40分間蒸す

※蒸したあとのお湯を利用して大根を茹で、大根干しを作りましょう

#### ■今月の食にまつわるお話…

2月14、15日はやしろうまの日です。昔はお互いの家の「やしろうまに乗り」に出かけ、お茶飲みをしました。戸那子の集落には、おまんだるさんと言う行事が今も行われていて、毎年保育園の子ども達はやしろうまをいただきながら、「あの世には地獄、極楽があり、生きていうちに悪い事をした人は死んでからあの世でおしおきがあら」というお話を聞きます。

⑥ロビーにてオリンピックポスター（1896～2004、縮小版24枚）展示中。



## 美術館情報

## 常設展示

- 郷土ゆかりの画家たちの作品を展示
- 入館料：大人300円、市内の小・中学生は入館無料（引率、同伴の方を含む）。※入館無料の日は毎月第3日曜日
- 開館時間：9：00～17：00（入館は16：30まで）
- 休館日：毎週月曜日。  
ただし1/9は開館、1/10は休館

## 利融通情報 ～不用品の交換～

### ◆譲ります（無料）

- ☞介護用手動ベッド①☞机・椅子（学習用）①
- ☞オルガン①☞マッサージチェア①

### ◆譲ってください（無料）

- ☞ビデオカメラ①☞スノーシューター①☞画材・楽器類

### ◆譲ってください（有料でも可）

- ☞除雪機①☞風呂釜①☞椅子型マッサージ機①☞耕運機（歩行型）①☞トラクター①☞ノートパソコン①
- ☞かき氷作成機（中～大型）①☞穀力カマド①
- ☞小学生用スキーウェア①

※希望される方は、生活環境室（電話62-3111内線192）までご連絡ください。ここに掲載した品物の登録者をご紹介しますので、当事者間で交渉してください。なお、品物の引き渡しに伴うトラブルは当事者間で解決してください。

※マタニティ・子育て用品の無料リサイクルを常時行っています。ご希望の方は、つまようじ代表の石塚薫さんまで直接連絡してください（電話67-2564）。

▼空の底が抜けたのかとさえ思いたくなる雪、雪の毎日。ほっと一息つく間もない連日の降雪に「これ以上は、もう勘弁してほしい」というのが、雪処理に追われる多くの皆さんの切実な願いでしょう。▼落雪や落下で人命に係わる事故も発生しています。家屋の倒壊もありました。疲れきった体で、雪のやり場もなく途方に暮れる日々は、いつまで続くのでしょうか。▼暗い話題が先行しがちですが、自衛隊の派遣をはじめ、市外・県外から雪下ろし等の救援の手が差し伸べられています。雪に閉ざされた飯山市も孤立無援ではないことを胸に留めたものです。田中

## 編集後記